

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第3区)

東京都選挙管理委員会

比例は中道〈ちゅうどう〉

ママの心と、記者の目で。
あべ祐美子の政策

子ども・若者の育ちを支える

- ・妊娠・出産・子育てに関わる負担の軽減
- ・学校の教員不足解消と待遇改善
- ・通信制高校への支援充実と学びの多様化
- ・若者のユースクリニックの推進

医療・福祉の充実と自己決定権

- ・医療機関や福祉施設への緊急支援
- ・障害児支援での所得制限撤廃
- ・精神医療の改革促進
- ・選択的夫婦別姓や同性婚の早期実現

物価高対策と未来への投資

- ・日本ファンド創設で食料品の消費税ゼロ税率
- ・若手研究者の待遇を改善し、研究のすそ野を拡大
- ・フリーランス支援と社会保険料のガク解消

防災と暮らしの安全

- ・都市再開発の制度改善と居住者保護
- ・マンション防災とベット同行避難
- ・特殊詐欺やオンラインカジノ対策強化
- ・犯罪被害者支援の充実

島の暮らしと産業

- ・離島の災害対策強化と復旧支援
- ・交通・物流の安定的運用と産業支援
- ・島内からの医療アクセスの改善

中道改革連合
Centrist Reform Alliance

〈共同代表〉
齊藤鉄夫
野田佳彦

くらしを
真ん中。
平和を守る。

円安が進み、物価高が止まりません。なのに現政権は、国民の暮らしと経済を後回しにして自己都合での解散劇。国民本位で穏健な政治を実現するため新たに「中道改革連合」を結成しました。私は政治家の家に生まれたわけでも、裕福な家庭に育ったわけでもありません。新聞記者として、地方議員として長年、世の中の矛盾を目の当たりにしてきました。自らの子育てや、親の老いに向き合ってきました。現実には、重く、深い。だからこそ、政治のちからで、ひとの暮らしを支えたい。子ども・教育、福祉や医療、社会保障の立て直し。物価高対策、多様性の尊重、対話による平和。あなたとともに、未来を変えていきます。

【阿部祐美子(あべゆみこ)プロフィール】1964年、東京都生まれ。岡山大学法学部卒業。山陽新聞記者、在ポーランド日本大使館専門調査員、教育専門紙記者を経て、2006年から品川区議5期、都議1期。衆議院議員1期。夫と息子の3人暮らし。行政書士。品川消防団所属。好きなものはアート鑑賞、旅。高校時代は弓道部、大学では三味線。



中道改革連合
あべ祐美子
ゆみこ

石原ひろたか

環境大臣・原子力防災担当大臣
前自民党離島・半島振興特別委員長

国力をつけ 豊かさの実感を!



いしはら
石原ひろたか
自民党公認

石原ひろたかプロフィール

昭和39年6月19日生まれ
昭和63年慶應義塾大学経済学部卒業
昭和63年日本興業銀行(現みずほ銀行)入社。
内閣総理大臣補佐官(安全保障・核軍縮担当)、
環境副大臣、内閣府副大臣、外務大臣政務官、
衆・環境委員長、党環境・温暖化対策調査会
事務局局長等を歴任。当選6回。

私たちが石原ひろたか応援団

- 自民党総裁 高市早苗
- 東京都議会議員 三宅正彦、せりざわ裕次郎
- 品川区議会議員 石田ひでお、渡辺ゆういち、まつざわ和昌、西村なおこ
- こは新、えのした正人、沢田えみこ

比例代表も自民党へ

8 伊豆諸島・小笠原諸島は国の宝
各々の島の実情に合わせ、住宅、医療、教育、産業振興などを全面支援し、本土との格差を縮小。再生可能エネルギーを導入。離島航路・航空路を維持・更新。

7 科学技術と原子力
日本ならではの「信頼できるAI」を開発。海外からの投資の誘致と、それらを核にした企業城下町による地方活性化。新規規制基準に適合する安全な原発を活用。

6 政治改革、行政・規制改革
政治資金の透明化の徹底、代表者の責任を明確化。収支報告書に不記載の資金は国庫返納。日本版DOGE(政府効率化局)を中心に政府支出を総点検して無駄を撲滅。

5 経済安保と戦略投資
AI・半導体、宇宙、量子、バイオ、造船などの経済安保上の重要投資対象17分野に対し、官民一体で戦略投資して、経済安保と成長を両立。基幹インフラのサイバー対策強化。

4 強くなったかな外交・防衛
安全保障環境の激変を踏まえて、防衛力を抜本強化。自由貿易体制を維持し、一方的な経済圧力に対抗。毅然たる姿勢で拉致問題に対応。インテリジェンスの強化。

3 稼ぐ力を強化する成長戦略
GX(洋上風力・次世代太陽電池・水素等)、DX(AI・データセンター等)への集中投資。レアアース・レアメタルの供給網の多角化。Jサイクル強化、南島群島の海底資源開発。

2 責任ある積極財政・金融政策
責任ある積極財政の方針の下、政府債務残高の対GDP比を着実に低下。能登半島・伊豆諸島の災害復興支援。政府全体で1兆円規模の中小事業者支援。

1 物価高対策・秩序ある共生社会
所得税負担を軽減し、年収の壁を引き上げ。ガソリンの暫定税率を撤廃。高校の授業料・小学校給食の無償化。明確なルールの下で外国人を受け入れ、秩序ある共生社会を実現。

石原ひろたか8つの政策

「もっと」手取りを増やす
一人の声から始まる政治
～声をチカラに声をカタチに～

みなさまのおかげで 実現! 〆

ガソリン暫定税率
廃止

「年収103万円の壁」
引き上げ

【石田しんごプロフィール】

【プロフィール】1979年(昭和54年)生まれ/浦安市立入船北小学校/渋谷区立松濤中学校/単身渡米/New Hampton School/Santa Monica College卒業/サラリーマンを経て衆議院議員 松原仁秘書/平成19年品川区議会議員初当選/3期/参議院議員 川合孝典秘書/令和5年4期目当選/3児の父(1歳・3歳・5歳)



国民民主党
こくみん
Democratic Party For the People

私たちが応援しています!

減 税

- 住民税の控除額の引き上げ
- 所得制限撤廃(基礎控除、障がい福祉)
- 消費税の一律5%、インボイス廃止

社会保険料を軽減

- 「社会保険料還付制度」の創設
- 「130万円の壁突破助成金」の創設
- 賃上げする中小企業の事業主負担を半減

住宅を安く手頃に

- 中低所得者向けの家賃控除制度創設
- 空室税を導入し、不動産の投資目的売買を抑制
- お手頃な家賃の住宅を子育て世帯や単身高齢者に供給

生活コストを安く

- 電気代値下げ(再エネ賦課金廃止2万円程度/年)
- 灯油代、ガス代、水道代の通年値下げ



国民民主党
しんご石田
いしだ
ご 46歳

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第3区に属する区域

◎品川区の全域

◎大島支庁管内、三宅支庁管内、八丈支庁管内、小笠原支庁管内の全域

令和8年2月8日執行

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第3区)

東京都選挙管理委員会



ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化と移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする

の柱
～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く

の柱
～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食は人の天なり**
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

の柱
～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子供一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくれます。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!



植木ひろたか 43歳 プロフィール
昭和 57 年、山口県防府市生まれ。宇都宮大学農学部卒業。前職は都市の緑化計画に携わる造園会社に勤務。現在は金融機関勤務。
趣味は、バレーボール・城や神社仏閣巡り。
好きな言葉は『死生観』。小学生の娘を持つ父親。品川区在住。2024 年の衆議院選挙で東京都第3区より出馬。



参政党公認

うえき
植木
ひろたか

2年間の食品の消費税ゼロへ!与党だからできる、維新だから動く!

子育て「パパ候補」がすすめる教育無償化

自身も育児中だからこそわかる「保活・教育費・社会保険料」の負担。維新の教育無償化を品川から実現。

経済「経営・投資」の視点で手取りを増やす

財務省の知見×投資家の眼。二重課税解消と所得減税で、現役世代の可処分所得を最大化。

まちづくりデジタルで「品川・島しょ」を再生

SNSマーケの知見を活かし、島しょ部の観光・物産をDX。武蔵小山周辺の防災強化。

政治改革 IT経営者による「透明化」

古い政治の慣習を打破。企業団体献金に頼らず、ITを活用したクリーンな収支公開。



日本再起への 12本の矢

【維新版・令和の所得倍增計画】

～現役世代の「手取り」を最大化し、

日本を稼げる国へ～

税金と社会保険料を安くする(家計の矢)

教育・子育てを完全無償化する(未来への矢)

古い規制を壊し、経済を動かす(稼ぐ矢)

政治家が「身を切る改革」を徹底する(覚悟の矢)



下記は抜粋です。
全容はこちら▶

東京3区は、 私の原点であり、現在です。

学生時代は武蔵小山。社会人の今は品川区でIT企業を経営。
そして昨年末、都内で父になりました。財務省の知見とパパの視点で、この街から日本をアップデートしていきます!

高市総理、吉村代表と共に
与党の責任を
果たしてまいります!

プロフィール

昭和 59 年 1 月 25 日 新潟生まれ。慶応義塾大学法学部卒。
卒業後、財務省に入省。G7・G20 サミット・IMF・世界銀行、金融危機などを担当。内閣官房国家戦略室主査(予算編成、成長戦略〈雇用・インフラ・子育て支援等〉)
平成 24 年、自民党の公募に合格。最年少で衆議院議員に初当選。以降、3 期務める。
与党内での各種役職や議員連盟の事務局など国会内で奔走してきた。

負担を減らし
手取りを増やす
与党維新の
力



いしざき
石崎
とおる
42 歳

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
なお、投票所入場券がなくても、選挙人名簿に登録されている本人であることが確認できれば、投票が可能です。

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第3区に属する区域

◎品川区の全域

◎大島支庁管内、三宅支庁管内、八丈支庁管内、小笠原支庁管内の全域

投票方法

「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載

◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載